

## 「あいち環境づくり推進協議会幹事会」会議録

日 時：平成 27 年 1 月 27 日（火）午前 10 時から午前 11 時 20 分まで

場 所：愛知県東大手庁舎 4 階 409 会議室

出席者：委員 31 人

説明のために出席した者（環境部職員） 6 人

傍聴人 0 人

概 要：

### 1 開会あいさつ（杉浦愛知県環境部長）

昨年 11 月 10 日から 12 日までの 3 日間、E S D ユネスコ世界会議が開催された。会議の開催に当たっては、本協議会の皆様方から様々な形で御協力をいただき、この場を借りて厚くお礼申し上げます。世界会議には 150 か国が集まり、76 名の閣僚を含め、1,000 名を超える公式参加者に御出席いただいた。また、皇太子殿下、雅子妃殿下に御臨席賜り、大変注目を集めることができた。

最終日の閉会全体会合では、今後の世界の E S D の取組方針を示す「あいち・なごや宣言」が採択され、C O P 10 の「愛知目標」に続いて「あいち・なごや」の名を、持続可能な社会づくりへの世界レベルでの取組に残すことができたものと思っている。また、あいち・なごやの子どもたちによるメッセージを、世界会議の閉会全体会合で発表することができ、開催県として、会議の成功に対し、関係者から高い評価をいただいたことは、意義深いことと考えている。

世界会議を成功裏に終えることができたことは、愛知万博を起点とした県民の皆様の高い環境意識、ホスピタリティ、ボランティアの方々の活躍などが、この世界会議でも活かされたものと考えている。これは昨年策定した第 4 次愛知県環境基本計画の目標である「県民みんなで未来へつなぐ『環境首都あいち』」の示すとおり、あいちの環境づくりに最も力を発揮していただくのは県民の皆様であり、私ども県は皆様と一緒に力を合わせて様々な取組を進めていくことが重要であるとの思いを新たにしたい。

これからは「環境首都あいち」を担う人材の育成、環境面での人づくりが重要であり、日常生活の中で身近な環境配慮行動をとっていただけるよう働きかけていくとともに、様々な分野で活躍する皆様方が交流する場を設けたいと考えている。そのため、専用のウェブサイトの開設や、民間企業や行政の環境学習施設のネットワークづくりなどに取り組んでまいりたい。

今後も、本日お集まりの皆様方とともに、環境基本計画に掲げた様々な取組を進めるため、情報交換や交流を図り、協働して環境施策を推進してまいりたいと考えているので、よろしく御協力をお願いします。

### 2 議事

#### (1) 平成 26・27 年度「環境首都あいち」に向けた重点活動方針について

事務局から、資料 1「平成 26・27 年度「環境首都あいち」に向けた重点活動方針」について説明。

530 運動環境協議会から、活動状況等について報告があった。

(2) 平成 26 年版環境白書（平成 25 年度環境の状況及び環境の保全の施策に関する年次報告）について

事務局から、資料 2「平成 26 年版環境白書」について説明。

(3) 県政世論調査（これからの環境保全の方向性について）の結果について

事務局から、資料 3「県政世論調査（これからの環境保全の方向性について）の結果について」により、平成 26 年度第 3 回県政世論調査のうち、「これからの環境保全の方向性について」の調査結果について説明。

**【質疑等】**

(委 員) 資料 3 の 3 ページの「過去の調査結果との比較」において、「自然環境や生物多様性の保全」が今回調査で大きく減少した原因について、分析は行っているか。

(事務局) 今回減少した原因については、特定できていない。前回調査は平成 23 年度に実施しており、平成 22 年の C O P 10 の直後であったことから、「自然環境や生物多様性の保全」の割合が多かったと思われる。

(4) あいちエコアクションポータルサイト「エコリンクあいち」について

事務局から、資料 4「エコリンクあいち（リーフレット）」及び資料 5「あいちエコアクションポータルサイト「エコリンクあいち」」により、今年度、県が整備したウェブサイトシステム「エコリンクあいち」の概要について説明。

**【質疑等】**

(委 員) このサイトは、モバイル端末に対応しているか。

(事務局) スマートフォンやタブレットなど、パソコンだけでなくモバイル端末ですべての機能が利用可能。

(委 員) 現在の投稿数はどの程度か。

(事務局) 広場やカレンダーは、7 月からの運用で約 2,000 件の行催事を掲載した。日記ページは 30~35 件となっており、現在、PR を行い投稿していただくよう呼びかけている。

(委 員) 資料 4 のチラシは、こういった対象に配布しているか。

(事務局) 広く県民の方へ周知するため、市町村を始めイベント等での配布を計画している。これまで、機能の一部が開発中であったため周知を控えていたが、今週末からすべての機能を公開するため、大々的に PR していきたい。

(委 員) 資料 3 の県政世論調査の結果（2 ページ）にあるとおり、ウェブページから環境に関する情報を得ている人は非常に少ない。是非とも、他の媒体も使いながら情報発信して行ってほしいと思うので、何か方策があれば教えてほしい。

(事務局) 若者は新聞や雑誌ではなく、ウェブページに接する時間が長いため、SNS（ソーシャルネットワークサービス）を活用していきたいと考えている。新聞やテレビ・ラジオなどの広報媒体も十分に活用し、総合的に広報を進めていく。

(5) 「Let's エコアクション in AICHI ～地球へのラブレター～」の開催について

事務局から、資料6「Let's エコアクション in AICHI (リーフレット)」及び資料7「「Let's エコアクション in AICHI ～地球へのラブレター」を開催します」により、今年2月7日・8日に開催する「Let's エコアクション in AICHI」の概要について説明。

(委員) イベントの対象は、小中高校生あたりということか。学校などへの広報はしているか。

(事務局) エコアクションは、小さいお子様から大人の方まで幅広く取り組んでいただきたいと考えている。学校は数が非常に多いため、すべてにチラシを配布することはできないが、図書館についてはすべて配布している。また、幼稚園にも配布している。市町村はもちろんのこと、栄地区の集客施設にもチラシ・ポスターの配布をお願いしている。

以上